

2 京都府教育情報ネットワークの概要

拠点は、京都府総合教育センターを広域的に学校をつなぐ情報通信ネットワークの拠点として整備し、学校が拠点を通じてインターネットに接続できるよう環境を整えるとともに、様々なサービスを提供できるようになっています。

ここでは、拠点の各機器の構成を説明します。

なお、次の図4-5は拠点の概要を模式的に図示していますので、参照してください。

外部ホームページサーバ

各学校等が世界（外部）へ情報発信を行うサーバで、前述のWWWサーバがこれに当たります。各学校のホームページはここに登録されることで全世界へ公開されます。また、当総合教育センターのホームページではセンター刊行の教育資料、研修講座案内、ソフトウェアの二次情報等も提供されています。

内部ホームページサーバ

これは、府内公立学校等イントラネット（以下「府内イントラネット」という。）として構築されたネットワーク内において、府内小、中、府立学校等の教育機関が相互に情報発信を行うサーバで、ここに登録されたホームページは外部からは見ることはできません。ここでは、各学校等が、自校の概要、地域情報等を掲載したホームページを登録し、発信できるシステムを構築しています。

なお、当総合教育センターのホームページでは、学校用のホームページやアンケートなどのプロトタイプを提供し、各学校等がこれを見本にして自校用に作り換えていくことができるようにしています。

セキュリティサーバ

府内イントラネットと外部のインターネットの間に位置し、内部のコンピュータから外部に存在する有害情報へのアクセスを制限したり、外部から内部への不正侵入を防止する機能を有しています。

メールサーバ・ニュースサーバ

電子メールやネットニュースのやり取りを行うためのサーバです。

コミュニケーションサーバ

府内の小・中学校から拠点へのダイヤルアップ接続を受けるためのサーバで、1.5Mbps専用線2本で接続しているため、64KbpsのISDNであれば同時に最大46か所から接続できます。ここでは、ダイヤルアップ接続の管理のために認証サーバを設置して、ID・パスワードやアクセス元の電話番号などの確認を行います。

イントラネット用サーバ

府内イントラネット内で、テレビ会議等の機能を提供します。高機能パソコンサーバをベースとしてイントラネットを活用するための、以下のサービスを提供します。

- ・ストリームワークス（StreamWorks）：映像と音声をリアルタイムに送信することができ、VOD（ビデオ・オン・デマンド）や生放送が可能
- ・リアルビデオ（RealVideo）：高品質の音声や映像を、リアルタイムに送信することが可能
- ・CU-SeeMe：テレビ会議システムで、同時に最大12か所を結んで会議を行うことが可能です。

京都府教育情報ネットワーク拠点のシステム図

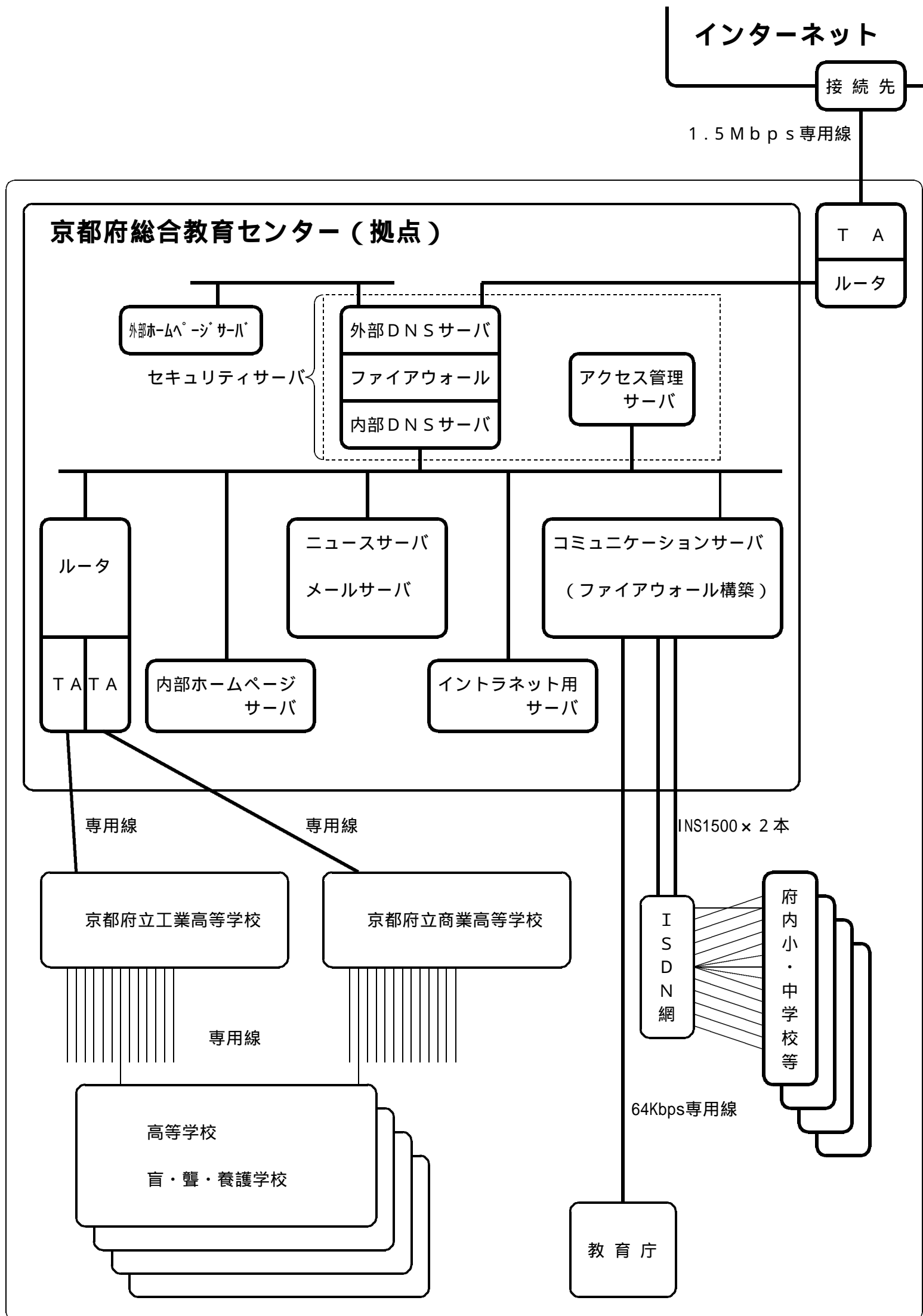


図 4 - 5 京都府教育情報ネットワークシステム概要